

散る櫻、残る櫻に後をたく志て

IAdd11 | IAM7 | IAdd11 | IAM7(9,11) |

誇りを背負い 機関銃を抱く 恐れなどは無い ただ その為に生まれた

震える大地 堕ちるのは影 揺らす翼 越えてく別れの言葉

染まってく鮮血のメロディー 友の声が聞こえる IDM7 E IC#m7 F#m7(11)|

もっと南へ 空は晴れてる 高く翔ぼう

響く悲鳴 消えてくような感情 包む朝日 雲の上の静寂

父と母と 生まれた町の声 最後の手紙は 誰にも届かない

散らばった葉きょうのリズム 重なる光に照らされて

そっと願って 今こそその時 盃を交わそう

無事を願い振った手のひらで 飛び立つ前に掲げた沈黙の手のひらで

「安らかに・・・」と合わせた手のひらで

人は何を掴む？ 彼は何を無くした？

強く強く響いた音が帰れない夜を裂いた

あなたの声を最後にあなたの声を聞きたかった

生きることは痛み伴い信じることでそれを捨てた

繰り返す螺旋階段の中で繋がった空は

変わらない青を描いて

染まってく鮮血のメロディー 友の声が聞こえる

輝いたのは あの日の櫻

もっと南へ 空は晴れてる 高く翔ぼう